

(参考様式)

鳥取市新事業展開支援補助金 事業計画書

### 1 計画の概要

申請者	名称	
	代表者職・氏名	
	所在地	

### 2 現在の事業状況

#### (1) 事業内容

- 現在の主な事業内容や販売・提供している商品・サービスの内容、ターゲットにしている市場の状況分析について記載してください。
- その事業が該当する日本標準産業分類の小分類を記載してください。

<現在の事業分野>

日本標準産業分類の小分類	
--------------	--

#### (2) 過去3年分の売上等の状況

- 現在の事業の過去3年分（直近決算、その1年前及び2年前）の売上等の状況について記載してください。なお、申請時点で過去3年分の記載が出来ない場合は、可能な範囲で結構です。

<売上等の状況>

単位：千円

	2年前	1年前	直近期末
売上高			
営業利益			
経常利益			

#### (3) 現在の販路獲得手段等

- 現在販路獲得のために用いている手法について記載してください。

#### (4) コロナ禍以降の課題・商機

- コロナ禍で変容した生活様式や市場により生じている経営上の課題・影響や、プラスの影響等について、どのように分析しているか、具体的に記載してください。

### 3 新たに取り組む事業の内容

#### [全社共通]

- ・ 課題を解決するためにどのようなことをどのような手段で実施するか、具体的に記載してください。
- ・ 目標とする売上規模や商品・サービス等の想定価格等について記載してください。
- ・ 新たに実施しようとする事業がターゲットとして想定している具体的な顧客、マーケット及び市場規模等について記載してください。

#### [「新分野進出」の場合]

- ・ 新規事業分野に進出することで、既存の事業とどう差別化し、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した新型コロナウイルス感染症蔓延以降の需要、コロナ禍で変容した生活様式や市場に対応した事業継続・持続的発展につながるようになるのかについて、具体的に記載してください。
- ・ 新規事業分野が該当する日本標準産業分類の小分類を記載してください。

#### <新規事業の事業分野>

日本標準産業分類の小分類	
--------------	--

#### [「販路獲得のための新規手法の導入」の場合]

- ・ 新規販路開拓手法がどういった性能的優位性や価値を有し、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した新型コロナウイルス感染症蔓延以降の需要や、コロナ禍で変容した生活様式や市場に対応した事業継続・持続的発展につながるようになるのかについて、具体的に記載してください。

#### [「新商品・サービスの開発」の場合]

- ・ 新商品・サービスがどういった性能的優位性、価値や価格を有し、既存の商品・サービスと差別化が図られるか、コロナ禍で変容した生活様式や市場に対応した事業継続・持続的発展につながるようになるのかについて、具体的に記載してください。

### 4 実施体制

- ・ 新たに実施しようとする事業の責任者や役割、人材の活用方針（新規雇用や既存事業の縮小による配置換えなど）や外部支援機関との連携等について、具体的に記載してください。

### 5 スケジュール

- ・ 新たに実施しようとする事業の実施スケジュールについて、計画を管理するうえで重要な節目や区切りを設けつつ、記載してください。（補助事業終了後の中期的なスケジュール記載も可）

## 6 収支計画

- ・ 新たに実施しようとする事業により見込まれる収支予測（販路開拓手段の導入については販路開拓対象事業の収支）について、事業終了後3年から5年の範囲で記載してください。なお、売上・利益等の増加額については、その算出根拠を示してください。

単位：千円

	直近決算	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
①売上高						
②営業利益						
③経常利益						
④人件費						
⑤減価償却費						
付加価値額 (②+④+⑤)						

(売上・利益等の増加額についての算定根拠)

--

## 7 資金調達計画

- ・ 新たに実施しようとする事業に必要な資金の調達計画を記載してください。なお、財務状況や事業により見込まれる収益に対して妥当な計画となっている旨を説明してください。

単位：千円

区分	事業に要する経費	資金の調達先
自己資金		
補助金交付申請予定額		
借入金		
合計		

(財務状況や事業により見込まれる収益に対する資金調達計画の妥当性)

--